

友人から教えられたマジックの魅力

愛知県を中心にマジシャンとして活動しているHiromichiさん(以下、ヒロミチさん)は江南市出身の22歳。彼がこの道を歩むきっかけとなったのは17歳のとき。友人たちとトランプゲームを楽しんでいた流れて、その中の一人がトランプマジックを披露したことがきっかけ。それは1枚選んだカードを他のカードに混ぜてシャッフルした後、先に選んだカードを見つけ出すというもの。「4回くらい間違えたから、ほんとはできるのか?」と普めてかかってたんですけど、実はわざと失敗に見せかけていて、ちゃんと当てたのを見たときは、雷が落ちたような衝撃を受けました」とヒロミチさん。テレビなどでマジックショーを見た経験はあるものの、やはり目の前での生の体験は格別だったという。以来、ヒロ

ミチさんはすっかりマジックの虜に。大学進学を考えていたものの、マジックへの興味が強くなり、進学後の自分の人生を思い描くことができなくなってしまうほどだった。そして大学に行っているその時間すら勿体ないと感じるようになり、卒業後はアルバイトをしながら、マジックショーやマジックバーに通い、マジックを習う日々が始まった。

多くの人の応援とご縁がマジシャンとしての成長の糧

ヒロミチさんが初めて人前でマジックを披露したのは18歳のときだった。地元の子供館で子どもたちや職員を前にマジックショーを開催したのだ。それはボランティアではあったが、とても緊張し、気持ちの余裕はほとんど無かったという。したがって失敗もあつたというが、子どもたちの反応は上々で、ヒロミチさんにも楽しんでく

巻頭特集 マジックに魅せられプロの世界へ

マジシャン Hiromichi さん

見る人をアツと驚かせ、瞬間に不思議の世界へ導くマジックのプロ・Hiromichiさん。これまでの道のりとマジックの魅力について語ってもらった。

マジシャン
Hiromichi (ヒロミチ)

1999年江南市出身、在住。高校生のときに出会い感動したのをきっかけにマジックを学び始め、現在、プロのマジシャンとして活躍中。トランプやコインなどのマジックから炎やフォーク、ルービックキューブ、ハトや、魚などを扱うマジックまで様々なテクニクをもつ

出演歴 ●「Mr.マリク超魔術デザイナー」のテーブルマジシャン
●エクス軽井沢にて完全個室プライベートマジックショーイベント
●江南市子どもフェスティバル

新年会忘年会の余興、子ども会、お祭り会場、レストランやホテルのイベント、パーティの余興、商業施設のステージイベント、学校公演など出演多数。ご依頼はHPよりご相談ください

<https://hiromichi-magic.jimdofree.com/>



れている様子を感じたという。これがきっかけで他のイベント時にも依頼の声がかかったり、他の児童館にも紹介されたりと、ヒロミチさんの活動の場が広がった。同時によく通っていた飲食店でも披露の場を提供してもらったり、先輩マジシャンのアシスタントを務める機会を得たりと様々な経験を重ねていくうちに、マジックに真剣に向き合い、プロのマジシャンになる決意を固めたのだ。

現在、ヒロミチさんは、トランプやコインなどの小物を使ったマジックのほか、観客の胸元から炎を出したり、テーブルを浮かせるなど、見た人があつと驚く数々の巧妙なマジックを披露している。そのなかで最も得意とするのがハトや魚などの生き物を扱うもの。ショーが盛り上がりを見せるころ、突然ハトやウサギ、魚などの生き物が登場することで、場内はさらに熱気が高まるのだ。



お客様もマジックに参加!
テーブルを浮かすマジックで会場騒然!



ヒロミチさんが得意とするのは生き物を扱うマジック。ハト、ウサギ、インコ、魚たちは大切なパートナー



誰でも簡単にできるマジックの方法を
動画でヒロミチさんが伝授!



ヒロミチさん愛用のマジックアイテム

マジックは人生のパートナー

マジックとの出会いから5年が経ち、数々のテクニクを習得したヒロミチさん。「これまでに困難だったこと」を尋ねたが、「難しいとか辛かったと感じたことは一度もない」と断言する。

「それはとにかくマジックをしている時間が楽しいから。今も、仕事というよりは、自分自身でも楽しみなからマジックをやっているからでしょうね」と話す。

しかし、そんなヒロミチさんではあるがやはり失敗の経験は付き物のようで、ハトを初めてマジックに使った時には、ハトにも緊張が伝わったのだらう。ハトを出現させた途端、パタパタと飛び出し、ステージ中を飛び回るといいうアクシデントが起きたそう。

「そのときは僕もすごく焦ってしまっ、思わず、ああ〜と声が出てしまったんですけど、散々飛び回った後はお客さんの肩にとまると、お客さんが捕まえてくれたので、難を逃れることができたんです」と面白エピソードを話してくれた。今ではそんなハプニングもなく、生き物たちはヒロミチさんの大切なパートナーとなっている。自宅にはたくさん

家でふ化させ、自分で育てながら調教しているそう。

また、自分自身のマジックの技術向上にも余念がない。今後は自分しかできないオリジナルのマジックの考案に挑戦したいと、日々研究を重ねている。ちなみに今、準備を進めているのが、小学校から続けてきた剣道を活かし、和とコラボしたマジックだ。和服姿で剣を使ったマジックがどう完成するのか。想像するだけでワクワク感が止まらない。

ところで、マジックをより楽しむためには、どんな見方をすればいいのか聞いてみた。

「まずは、今からどんな不思議が起こるんだろう……?と想像しながら見てほしいですね。そして、目の前で起きた不思議をそのまま楽しんでいただければ」と話すヒロミチさん。今後の目標は「観客の皆さんが思わず集中して、のめり込んでしまうようなエンターテイメントを届けること」という。そして秘めた願いは、地元である江南市のPR大使になることだそう。

「僕にとってマジックは、進路や自分自身について悩んでいた時期に出会い助けられた大切なパートナーです。マジックの魅力を多くの人に知ってほしい」と言うヒロミチさんのこれからの活躍を応援していこう。